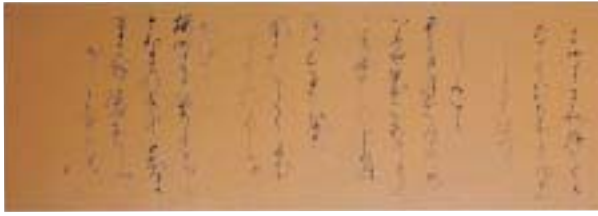


シリーズ 市民美術展入賞作品紹介
わたしの作品

今回から、第四十一回鳥取市民美術展覧会（七月六日～十三日、鳥取県立博物館）で入賞した作品を紹介していきます。

この美術展には、県東部から、日本画、書道、工芸、彫刻、洋画、版画、デザイン、写真の八部門に三百四十一名の応募があり、市展賞に二十二点、協賛団体賞に八点が選ばれました。今年も昨年と同様、技術レベルの向上と熱意がうかがえる作品が多数みられました。

なお、今回のシリーズでは、昨年受賞されていない人を紹介していきます。



【書道】市展賞 あかねぐも 茜雲



きのしたともこ
木下智子さん

「かな書道」の流れるような美しさが好きですね。この作品では、初めて「唐紙」という紙に書きましたが、墨の色がしっとりとした馴染み、落ち着いた感じがしたので気に入っています。これからは、見る人に景色が見えるような作品をつくっていききたいと思っています。



なかしまいさこ
中島維佐子さん



【日本画】市展賞

はちがつ 八月の夜明け

病気になったときに医師の勧めもあり、日本画をはじめました。この作品は、近所に咲いていた蓮の花を描いたものです。もともと題名には凝るたちで、蓮を辞典で調べると八月に咲く花とあり、ラジオで「蓮は、日を浴びると花が開く」と聞き、「八月の夜明け」と名付けました。夜明けの感じを出すのにたいへん苦労したので、受賞はともうれしく、今後の励みになります。

【写真】市展賞

むらまつ 村祭り



まつだてるよし
松田晃幸さん

写真暦は八年。まだまだ勉強中で、仲間と楽しくシャッターを押しています。この作品は、春に行われたある神社の春祭りの風景で、薫風が吹き、被写体をちょうど良く演出してくれました。また、子どもたちの表情も良く、満足しています。今後は、興味ある風土・人々の暮らしなどにファインダーを向けたいと思っています。

